

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【四半期会計期間】 第41期第2四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社グローバルダイニング

【英訳名】 GLOBAL-DINING, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 長谷川 耕造

【本店の所在の場所】 東京都港区南青山七丁目1番5号

【電話番号】 (03)5469-3223

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理本部長 山下 優子

【最寄りの連絡場所】 東京都港区南青山七丁目1番5号

【電話番号】 (03)5469-3222

【事務連絡者氏名】 財務経理グループ グループリーダー 中尾 慎太郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第40期 第2四半期 連結累計期間		第41期 第2四半期 連結累計期間		第40期	
		自 至	平成24年1月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年1月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年1月1日 平成24年12月31日
売上高	(千円)		5,833,974		5,501,783		11,813,367
経常利益又は経常損失()	(千円)		105,041		134,501		35,576
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()	(千円)		122,220		398,548		191,572
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		100,074		560,020		68,770
純資産額	(千円)		3,781,827		4,374,608		3,813,943
総資産額	(千円)		7,716,902		8,262,652		8,360,263
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期(当期) 純損失金額()	(円)		12.17		39.68		19.07
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)				39.09		
自己資本比率	(%)		48.9		52.9		45.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		13,278		123,091		227,266
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		24,717		771,262		29,153
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		49,296		239,148		111,294
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		340,441		1,170,323		513,133

回次		第40期 第2四半期 連結会計期間		第41期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期純損失 金額()	(円)		3.85		7.14

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第40期第2四半期連結累計期間及び第40期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、前連結会計年度末（平成24年12月31日）において、金融機関からの一部借入契約に規定された財務制限条項に抵触していましたが、平成25年4月15日において、財務制限条項が付された借入契約の借り換えを実行し、同日をもって財務制限条項が付された借入契約に基づく借入金を完済いたしました。これにより上記の財務制限条項への抵触は解消されました。

また、既存店のブラッシュアップ及び不採算店舗の閉鎖等の施策の結果、当第2四半期連結累計期間において各段階損益が黒字へと好転しており、経営成績が一定の回復をみせてきております。

従いまして、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消されたと判断しております。

上記以外に、当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等を行なわれておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな政策による期待感から円高是正や株価回復など持ち直しの動きも見られるものの、海外景気に対する不安感により先行き不透明な状態で推移しました。

消費マインドに改善も見られ、個人消費は持ち直してきたものの、外食業界におきましては、おむね横ばいとなり未だ厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、厳しい経営環境下においても持続的な収益成長を可能とする事業基盤の確立を目指し、付加価値の向上を目的とした社内コンテスト等を行い、優秀な人材の育成及び費用の適正化に重点を置き既存店の業績向上に取り組んでまいりました。また、経営資源の効率的運用及び収支改善を図るため、収益改善の見込めない3店舗に加え、契約終了のため6月26日をもって「フードコロシウム 沖縄」を閉店いたしました。その他、既存店のブラッシュアップとして「カフェ ラ・ポエム南青山」を「L B 7」としてリニューアルオープンいたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、55億1百万円（前年同期比5.7%減）となり、当第2四半期連結累計期間末の総店舗数は52店舗となりました。

損益につきましては、営業利益は1億6百万円（前年同期は営業損失1億8百万円）、経常利益は1億34百万円（前年同期は経常損失1億5百万円）、四半期純利益は3億98百万円（前年同期は四半期純損失1億22百万円）となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると、「ラ・ポエム」は16億79百万円（前年同期比0.7%減）、「ゼスト」は2億34百万円（同49.1%減）、「モンスーンカフェ」は13億15百万円（同4.9%減）、「権八」は13億19百万円（同5.1%増）、「ディナーレストラン」は4億11百万円（同0.4%減）、「フードコロシウム」は2億35百万円（同21.2%減）、「その他」は3億5百万円（同7.7%減）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比1.2%の増収となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して97百万円減少し、82億62百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して5億60百万円増加し、18億4百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が6億57百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が83百万円が減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して6億58百万円減少し、64億57百万円となりました。主な変動要因は、土地が3億45百万円、建物及び構築物が1億83百万円、差入保証金が1億13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して6億1百万円減少し、13億40百万円となりました。主な変動要因は、短期借入金2億16百万円、未払費用が89百万円、資産除去債務が87百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して56百万円減少し、25億47百万円となりました。主な変動要因は、資産除去債務が49百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して5億60百万円増加し、43億74百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が3億98百万円、為替換算調整勘定が1億59百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して6億57百万円増加し、11億70百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益3億82百万円、有形固定資産売却益3億円、減価償却費1億58百万円などにより、営業活動の結果得られた資金は1億23百万円（前年同期は13百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の売却による収入7億80百万円、資産除去債務の履行による支出90百万円、差入保証金の回収による収入1億13百万円などにより、投資活動の結果得られた資金は7億71百万円（前年同期は24百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の減少2億16百万円などにより、財務活動の結果使用した資金は2億39百万円（前年同期は49百万円の支出）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の売却について、当第2四半期連結累計期間に以下のとおり完了しております。

会社名	事業所名 (所在地)	事業部門の名称 [営業形態]	設備の内容	帳簿価額(千円)			売却完了日
				建物及び 構築物 (面積㎡)	土地 (面積㎡)	合計	
グローバル ダイニング、 インク・オブ カリフォルニア	権八 ビバリーヒルズ (米国カリフォルニア 州)	飲食事業 [権八]	店舗設備	(1,058.4)	424,202 (2,880.0)	424,202	平成25年1月18日

(7) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度末（平成24年12月31日）において、金融機関からの一部借入契約に規定された財務制限条項に抵触していましたが、平成25年4月15日において、財務制限条項が付された借入契約の借り換えを実行し、同日をもって財務制限条項が付された借入契約に基づく借入金を完済いたしました。これにより上記の財務制限条項への抵触は解消されました。

また、既存店のブラッシュアップ及び不採算店舗の閉鎖等の施策の結果、当第2四半期連結累計期間において各段階損益が黒字へと好転しており、経営成績が一定の回復をみせてきております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,896,000
計	16,896,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品取 引業協会名	内容
普通株式	10,052,600	10,052,600	東京証券取引所 市場第二部	(注)1
計	10,052,600	10,052,600		

(注) 1. 単元株式数は100株であります。

2. 「提出日現在発行数」には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権(ストック・オプション)の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数(株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年6月30日		10,052,600		1,472,118		2,127,118

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	平成25年6月30日現在
			発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
長谷川 耕造	東京都渋谷区	6,293	62.60
有限会社スペースラブ	東京都港区南青山7丁目1-5	792	7.87
ハセガワインターナショナル トレードカンパニー(常任代 理人 株式会社グローバルダイ ニング)	10687 SOMMA WAY.LA.CA 90077 USA (東京都港区南青山7丁目1-5)	626	6.23
株式会社古館篤臣総合事務所	千葉県柏市柏1丁目2-35-8階	65	0.64
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-10	57	0.56
井上 耕一	東京都世田谷区	41	0.40
グローバルダイニング従業員 持株会	東京都港区南青山7丁目1-5	34	0.34
BNYM SA/NV FOR BNYM CLIENT ACCOUNT MPCJ JAPAN(常任代 理人 株式会社三菱東京UFJ銀 行)	RUE MONTOYER 46 1000 BRUSSELS BELGIUM (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	31	0.31
株式会社丸進不動産	神奈川県横浜市緑区寺山町9-4番地1	22	0.21
小林 庸磨	東京都世田谷区	21	0.21
計		7,985	79.43

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,025,000	100,250	同上
単元未満株式	普通株式 19,600		
発行済株式総数	10,052,600		
総株主の議決権		100,250	

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株(議決権6個)含まれておりません。
2. 「単元未満株式」には当社所有の自己株式90株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 グローバルダイニング	東京都港区南青山 7丁目1-5	8,000		8,000	0.07
計		8,000		8,000	0.07

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり交代しております。

第40期連結会計年度

清明監査法人

第41期第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間 新日本有限責任監査法人

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	513,133	1,170,323
受取手形及び売掛金	374,351	290,696
原材料及び貯蔵品	230,611	173,831
前払費用	112,152	105,758
その他	13,790	64,341
流動資産合計	1,244,038	1,804,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,483,030	8,516,531
減価償却累計額	6,419,299	5,771,791
減損損失累計額	1,607,550	472,510
建物及び構築物(純額)	2,456,180	2,272,229
車両運搬具	9,847	10,768
減価償却累計額	9,786	10,725
車両運搬具(純額)	60	43
工具、器具及び備品	1,911,354	1,678,626
減価償却累計額	1,697,155	1,541,834
減損損失累計額	91,416	24,522
工具、器具及び備品(純額)	122,782	112,268
土地	2,906,250	2,561,076
リース資産	35,774	35,774
減価償却累計額	19,088	22,495
リース資産(純額)	16,685	13,279
建設仮勘定	-	638
有形固定資産合計	5,501,960	4,959,535
無形固定資産		
ソフトウェア	13,543	8,171
電話加入権	10,575	10,575
その他	276	236
無形固定資産合計	24,395	18,982
投資その他の資産		
投資有価証券	8,860	11,762
長期前払費用	16,320	16,007
差入保証金	1,564,686	1,451,412
投資その他の資産合計	1,589,868	1,479,182
固定資産合計	7,116,224	6,457,700
資産合計	8,360,263	8,262,652

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	451,041	363,855
短期借入金	216,800	-
1年内返済予定の長期借入金	315,777	281,601
リース債務	7,154	7,154
未払金	148,702	112,228
未払費用	529,549	439,606
未払法人税等	33,570	22,304
未払消費税等	69,921	49,875
店舗閉鎖損失引当金	790	-
資産除去債務	87,873	-
その他	81,267	63,869
流動負債合計	1,942,448	1,340,495
固定負債		
社債	1,360,000	1,360,000
長期借入金	448,310	467,758
リース債務	10,962	7,385
繰延税金負債	112,897	89,473
退職給付引当金	24,263	25,235
資産除去債務	647,437	597,696
固定負債合計	2,603,870	2,547,548
負債合計	4,546,319	3,888,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,472,118	1,472,118
資本剰余金	2,127,118	2,127,118
利益剰余金	669,952	1,068,500
自己株式	9,722	9,728
株主資本合計	4,259,467	4,658,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,308	5,176
為替換算調整勘定	455,515	295,911
その他の包括利益累計額合計	452,207	290,735
新株予約権	6,684	7,335
純資産合計	3,813,943	4,374,608
負債純資産合計	8,360,263	8,262,652

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,833,974	5,501,783
売上原価	5,454,350	4,921,752
売上総利益	379,623	580,031
販売費及び一般管理費	488,260	473,084
営業利益又は営業損失()	108,636	106,946
営業外収益		
受取利息	4	247
為替差益	3,722	21,845
受取保険金	2,964	11,542
その他	20,080	16,273
営業外収益合計	26,772	49,908
営業外費用		
支払利息	22,113	18,181
その他	1,063	4,172
営業外費用合計	23,176	22,353
経常利益又は経常損失()	105,041	134,501
特別利益		
固定資産売却益	-	300,580
特別利益合計	-	300,580
特別損失		
固定資産除却損	7,860	-
店舗閉鎖損失	380	3,383
減損損失	-	49,624
特別損失合計	8,241	53,008
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	113,282	382,073
法人税、住民税及び事業税	8,938	7,984
法人税等調整額	-	24,458
法人税等合計	8,938	16,474
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	122,220	398,548
四半期純利益又は四半期純損失()	122,220	398,548

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	122,220	398,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	630	1,867
為替換算調整勘定	21,515	159,604
その他の包括利益合計	22,146	161,472
四半期包括利益	100,074	560,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,074	560,020
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	113,282	382,073
減価償却費	180,928	158,118
有形固定資産売却損益(は益)	-	300,580
減損損失	-	49,624
店舗閉鎖損失	380	3,383
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	9,063	790
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,592	971
受取利息及び受取配当金	120	381
支払利息	22,113	18,181
為替差損益(は益)	3,722	21,845
売上債権の増減額(は増加)	103,094	86,978
たな卸資産の増減額(は増加)	22,951	55,225
仕入債務の増減額(は減少)	85,352	91,071
未払費用の増減額(は減少)	51,564	94,362
その他	42,646	89,020
小計	26,309	156,503
利息及び配当金の受取額	120	381
利息の支払額	21,488	15,916
法人税等の支払額	18,218	17,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,278	123,091
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	21,414	32,046
有形固定資産の売却による収入	-	780,965
資産除去債務の履行による支出	20,682	90,958
差入保証金の回収による収入	20,361	113,301
その他	2,982	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,717	771,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	11,970	216,800
長期借入れによる収入	250,000	330,813
長期借入金の返済による支出	284,109	349,577
リース債務の返済による支出	3,199	3,577
配当金の支払額	10	-
その他	7	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,296	239,148
現金及び現金同等物に係る換算差額	320	1,984
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	87,613	657,189
現金及び現金同等物の期首残高	428,054	513,133
現金及び現金同等物の四半期末残高	340,441	1,170,323

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 財務制限条項

前連結会計年度(平成24年12月31日)

当社の借入金のうち一部の借入枠設定契約につきましては、財務制限条項が付されており、下記の条項に抵触した場合には、当該債務について期限の利益を喪失する可能性があります。

(1)借入人の中間決算期末又は年度決算期末における連結の貸借対照表における純資産の部(資本の部)の金額が直前の中間決算期末又は年度決算期末における連結の貸借対照表における純資産の部(資本の部)の75%を、下回らないこと。

(2)借入人の中間決算又は年度決算における連結の損益計算書に示される経常損益を2期連続して損失とならないようにすること。

当第2四半期連結会計期間(平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
給料及び手当	236,927千円	224,452千円
信販手数料	61,588千円	59,320千円
役員報酬	27,030千円	31,560千円
地代家賃	16,254千円	15,144千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金	340,441千円	1,170,323千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金		
現金及び現金同等物	340,441千円	1,170,323千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、レストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	12円17銭	39円68銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (千円)	122,220	398,548
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (千円)	122,220	398,548
普通株式の期中平均株式数(株)	10,044,575	10,044,535
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		39円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		150,948
(うち新株予約権(株))		(150,948)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

株式会社グローバルダイニング

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内 藤 哲 哉 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴 木 博 貴 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グローバルダイニングの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グローバルダイニング及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。